

# ドラム式洗濯機

## 乾燥ダクトの掃除の仕方

このマニュアルは乾燥フィルターにつながるダクトの中にたまったホコリやゴミを取り除く方法を説明しています。

### パイプクリーナーという専用の道具を使います

ダクトの中に道具が落ちてしまうと厄介なので、金属製のワイヤーの先にブラシが付いた専用の道具を使ってください。パイプクリーナーは洗濯室の棚に置いてあります（持ち出したら必ず戻してください）。

まずは、フィルターボックスと本体フィルターの掃除をします。詳しくは「フィルターの掃除の仕方」をご覧ください。いずれも取り外しができるので、水洗いして乾燥しても良いです。

ダクトの掃除は右の青色の本体フィルターだけを取り付けた状態で掃除を開始します。これを外したまま掃除をすると、ダクトのホコリが本体の方に落ちてしまいますので、取り付けて掃除をしてください。

フィルターボックスの手前側に右の写真のようなダクトの穴が空いていますので、ここからブラシを入れていきます。

ダクトは下に伸びています。ブラシを入れてダクトの壁に擦るようにブラシを動かしてから引き出すと、ブラシにホコリが付いてきますので、ホコリを取り除いて、またブラシを入れてホコリをかき出すという作業を繰り返します。

ダクトの 80cm ぐらい奥まではワイヤーを入れるとダクトの端まで届きます。そこまで掃除をすると下の写真ぐらいのゴミが取れることがあります。



↓ ↑  
ゴミが取れなくなるまで繰り返す

